

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会・集団・家族心理学		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>対人間における行動や反応に関する一般的傾向を理解することを目的とする。対人コミュニケーションや対人関係理解の能力を高め、日常生活や就労に活かせるようになることが目標である。</p> <p><概要>対面授業で展開する。知見の元となった研究などを紹介しながら、ディスカッションやミニワークなどを通して体験を深める。各々の体験と理論をつなぎながら理解を深めていく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	社会・集団・家族心理学/著:森津太子/放送大学教育振興会 公認心理師の基礎と実践 第11巻 社会・集団・家族心理学/編:竹村和久/遠見書房				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会・集団・家族心理学の基礎知識を、対人援助場面で生かすことができる。			HSU(5)、HC(2)、HC(6)	
②	代表的な理論や研究の基礎知識について理解し、説明できる。			HSU(2)、HC(5)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。社会・集団・家族心理学概論を理解する。	講義・演習	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	対人認知とステレオタイプについて学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
3	原因帰属と社会的推論について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
4	態度と説得について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
5	自己概念と自尊感情について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
6	自己過程について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
7	対人関係について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
8	対人行動について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
9	社会的影響と集団力学について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
10	社会的葛藤について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
11	集団のサイズと発達について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
12	家族という集団について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
13	家族内の関係性について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
14	心の文化差について学ぶ。	講義・演習	事前にレジюмеを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
15	まとめとフィードバックを行う。	講義・演習	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として18年、公認心理師として7年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピイの技術を応用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。						
そ の 他	生成AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						